

## アジア・ゲートウェイ構想(抜粋)

アジア・ゲートウェイ戦略会議  
平成 19 年 5 月 16 日

### 1. 「最重要項目 10」

#### 8. 「日本文化産業戦略」に基づく具体的な政策の推進 ～文化産業を育む感性豊かな土壌の充実と戦略的な発信

- 今般策定した「日本文化産業戦略」では、あまねく文化産業を個々に分析するのではなく、様々な文化産業を産み出してきた背景や、その意味することなど、文化産業を総体的に捉え、基本となる考え方を提示した。
- 今後は、各府省等において、同戦略で提示した考え方を十分に踏まえて具体的な政策を推進することとし、日本文化の国際競争力や情報発信力の強化に、政府全体で一体的・戦略的に取り組む。

<日本文化産業戦略の概要(詳細は、別添 2 参照)>

- ◇ 文化産業は、個々の作品の及ぼす影響に加え、そうした作品や文化産業を育んだ日本の文化・芸術や伝統への理解を促すものである。そして、そうした総合的な文化力に対する「憧れ」が、世界を惹きつけ、幅広い産業への中長期的な波及効果も大きい。さらに、「日本ブランド」価値の増大や、日本への訪問・交流等を通じた相互理解にも資する。
- ◇ 日本の文化産業を支えるのは、内外の多様な文化を受け入れ、洗練させてきた大衆の審美眼と表現力である。これらは、精巧な工業製品をはじめとする様々な製品・サービスや現在のポップカルチャーやライフスタイルなど、様々な「花」を咲かせてきた。
- ◇ 今後とも、世界で評価される「花」を咲かせ続けるには、我が国で育まれてきた生活様式、風俗、慣習、伝統文化・芸能など、歴史的に醸成されてきた「土壌」を常に豊かにしていくことが重要である。そのためには、国民一人ひとりの生活のあり方とともに、子供からクリエイターまで、担い手である人材の強化が鍵となる。

- ◇ 日本は、アート、デザイン、コンテンツ、文化財、あるいは、衣食住などライフスタイルそのものにつながるものまで含めると、伝統とテクノロジーの織りなす「文化資源大国」である。例えば、自然環境と共生してきたライフスタイルは、今後の重要な文化資源である。日本人自身が、こうした「日本の魅力」を再認識・再評価することが重要である。
- ◇ そのためには、例えば、現在、「花」開いているアニメやマンガなど新しい領域の芸術文化の重要性が社会的に共有されていくことが期待される。
- ◇ 加えて、「日本の魅力」を海外に発信し、市場の拡大を図るなど文化産業の国際競争力強化を図るとともに、人材の育成や法制度・契約の改革など文化産業の基盤を強化することが重要である。
- ◇ ただし、文化や芸術への関わり方は多様・多次元であり、その時間・空間的な広がりは大い。常に、政府のできること、政府の行うべき役割を十分に踏まえ、長期的な視点で腰の据わった対応であることが重要である。

## 9. 日本の魅力の海外発信

### ～ 総理表彰・顕彰制度の創設と「ジャパン・クリエイティブ・センター」(仮称)の設立

#### <総理表彰・顕彰制度の創設>

- 日本の魅力を海外に発信していくためには、日本人自身が日本の魅力を再評価し、「日本独自の評価」を多様な形(Award, Prize, Ranking, Recognition など)で海外に発信していくことが重要である。
- 例えば、野球やサッカーの一流選手が、メジャーリーグなど海外での活躍を志向する一方、日本の大相撲には、モンゴルはじめ世界各国から優れた人材が集まる。日本の魅力を海外に発信していくためには、この大相撲のように、「日本で評価されたい」、「日本の価値軸で評価されたい」といった「日本独自の評価」を多様な形で展開していくことが重要である。
- マンガやアニメなど、日本のポップカルチャーへの国際的な評価は高い。例えば、デジタル時代のポップカルチャーの本場として、日本に世界中の才能と資本を集めるためには、「日本で認められてはじめて世界で胸を張れる状況」を実現することが極めて重要である。
- そのための政策の一つとして、「日本独自の評価」を世界に分かりやすい形で示し、将来の日本の魅力の担い手を国内外に増やしていく。具体的には、マンガなど日本独自の表現方式を使った作品、世界が憧れる日本の表現者、日本の魅力の向上・発信に貢献した外国人等を総理大臣自らが表彰・顕彰する制度を構築する。

#### <「ジャパン・クリエイティブ・センター」(仮称)の設立等>

- 世界の人々に「今の日本」の魅力を感じてもらい、「日本に行ってみよう」、「日本が好き」と思ってもらえるような「日本の魅力の体感スペース」を、シンガポールを皮切りに海外に「ジャパン・クリエイティブ・センター」(仮称)として設立する。
- 同センターにおいては、日本語教育や留学生支援などに加え、例えば、官民協力の下、「メディア芸術祭」、「日本ファッションウィーク」、「新日本様式」、「グッドデザイン賞」等の関連イベントや、日本の有名漫画家によるマンガ教室の開催など、目に見えた形での魅力的なイベント

を恒常的に実施する。

- また、最新ファッションやデザイン商品の販売などによる発信の重要性を踏まえ、「何を販売するか」ということ自体が、我が国の「感性」の重要な「発信」となることを十分に踏まえた対応を図る。
- さらに、例えば、「ジャパン・クリエイティブ・プログラム」を設立するアジアの大学に対し、一定期間、教員の派遣、学生の短期日本留学等を支援するといった提案も参考に、発信拠点の拡充に向けた取り組みを図る。
- なお、併せて、シンガポールにおいて、日本紹介 TV 番組の共同制作等により「日本の魅力」の発信方策の充実を図っていくことが重要である。

## 2. 重点7分野

### (6) 日本の魅力の向上・発信

～ 日本文化産業戦略を軸に、感性豊かなクリエイティブ・ジャパンに

#### 【現状認識】

- 伝統とテクノロジーが織りなす「文化資源大国」日本
- デジタル化がもたらす「新しい表現手段」と「誰もが生産者」という変化
- 文化産業は、我が国の経済的な利益や外交上の利益に直結

#### 【基本理念】

- 我々自身が日本の魅力を再評価し、評価軸を自ら世界に発信する側へ
- 表層的なものだけでなく、ライフスタイルや感性をも発信
- 大衆の審美眼や表現力など、文化産業力の根源となる「土壌」を重視

#### 【政策】

- クリエーションの拠点とするとともに魅力の発信
  - ・ 「日本ファッションウィーク」、「メディア芸術祭」、「JAPAN 国際コンテンツフェスティバル」、「新日本様式」、「グッドデザイン賞」等のイベントの内外での開催による発信強化
  - ・ フィルムアーカイブの拠点であるフィルムセンターの機能拡充などによる、日本の現代文化のアーカイブの充実及びメディア芸術の拠点化推進
  - ・ 海外のクリエイターや識者等への発信強化や作品の海外展開を促すため、コンテンツの国際共同製作等を促進
  - ・ 日本食・日本食材の積極的な海外発信
  - ・ 建築のオリンピックたる「UIA(国際建築家連合)2011 年東京大会」に向けた戦略的な対応の実施

- ・日本の自然, 日本人の自然の楽しみ方や自然との共存のあり方の積極的な海外発信  
(留学生が外国人に母国語で情報提供)

#### ○ 海外への日本の魅力の発信基盤の整備

- ・国際空港等を「日本の魅力」を示す優れた商品・感性・食文化等の発信・体感拠点として活用。また, 地域ブランドや次世代のアーティストの発信のチャンスの場合としても活用
- ・大使館や在外公館を活用したイベントの開催など, 「日本の魅力」の効果的発信
- ・「アニメ文化大使(仮称)」事業の促進
- ・「外国人向けの映像による国際放送の強化」に向けた政府や関係団体一体の取組みの推進
- ・海外からのアクセスを円滑にするため, 文化産業に関する情報の英語など外国語での発信や ICT を活用したリアルタイムでの情報発信を促進
- ・海外における日本産農林水産物等の常設店舗の設置
- ・日本文化発信拠点としてアジア「ふれあいの場」の設置

#### ○ 海外展開を視野においた文化産業の競争力強化

- ・コンテンツ産業のグローバル化のため, 分野別, 地域別のアクションプランを含む「コンテンツグローバル戦略」を策定し, 海外展開を加速
- ・海外を意識したコンテンツ制作, マルチユースを促進し, 透明でオープンなコンテンツ取引市場を形成。同時に, その成果をクリエイターや利用者に適切に還元
- ・コンテンツ事業者の法務能力の向上

#### ○ 文化産業の基盤の整備

- ・子どもの創作活動や感受性を育む(デザイン, 工作, 絵などを楽しむ)活動の推進
- ・小・中学校などの学校教育における子供たちの創造性を育む体験活動の充実
- ・産学連携等によりコンテンツ分野を支える幅広い人材の育成
- ・アジアにおける若手クリエイターの育成拠点化に向け, 例えば, 学生チーム対抗のファッションコンテストの拠点を国内に整備
- ・国際的に通用する専門人材の育成(国際的なプロデューサー, エンターテインメント・ロイヤルの育成など)
- ・「感性価値創造」活動の支援, 国民運動化の推進
- ・ビジネススキームを支える著作権制度の構築
- ・世界をリードするコンテンツ関連技術の開発, 普及の推進

#### ○ 文化芸術活動の戦略的支援と文化財等の保存・活用

- ・世界を魅了する「文化力」の向上のため, 伝統的なものから現代的な文化芸術まで多様な文化芸術の振興
- ・各地域の個性や特色を表す木造建造物等の保存修理や地域の祭りなどの保存継承といった文化財等の保存・活用を通じた地域の活力と「美しい国, 日本」の基盤の拡充

#### ○ 国際文化交流の推進と日本語教育の充実

- ・ 芸術家等の相互交流等文化芸術を軸とした国際交流の推進
- ・ アジアにおける海外学習拠点の大幅増, 日本語能力試験の見直し推進など日本語教育の強化
- ・ 海外現地における文化発信, 日本語教育と留学生支援サービスの一体的提供に向けた関係諸機関等の連携強化
- ・ 文化の多様性に配慮しつつ, アジア各国の有形・無形の文化遺産の保護への協力